# 学生 ROTEX の活動報告会・今後の ROTEX についての意見交換会のご報告

平成 25 年 6 月 29 日（土）・14 時から 18 時・学習院高等科 501・502 教室

## 01 学生 ROTEX の活動報告会

報告会

### 第 1 部　帰国報告会・学生 ROTEX 活動報告会　14:10 -

（司会　鈴木智子さん 34 期）

1．帰国報告会
- 山下和歌子さん（47 期：マドリッド・スペイン）
- 香西敬介さん（45 期：ベロオリゾンチ・ブラジル）2012-13 年度 ROTEX 委員長
- 植松久美子さん（47 期：イスタンブール・トルコ）

2．学生 ROTEX の活動報告
- 一戸曹祐さん（42 期：タイ）
- 藤井隆太さん（46 期：ドイツ）2013-2014 年度 ROTEX 委員長

1ベロオリゾンチの街 2 リオのスラム街 3サッカー観戦 4 ロータリーの例会での一枚 5 学校の友人と。学校には最後の出発日に登校して、逆にびっくりされたそうです。6 ブラジルの食の話もたくさん聞くことができました。アマゾン原産のアサイー、シュハスコ、「日本」料理屋で出された「いちごとバナナのお寿司」などなど。7 西洋と東洋がまざりあった「カオス」なイスタンブールを表す絵。8 お家でダンス陽気な家族 9 トルコ人もクリスマスを楽しみます。日本みたいですね。10 川を挟んでヨーロッパとアジア 11 トルコ料理 12 街でお気に入りの音楽、曲をながしながら、発表をしめくくりました。

## 帰国報告スピーチ

スペイン

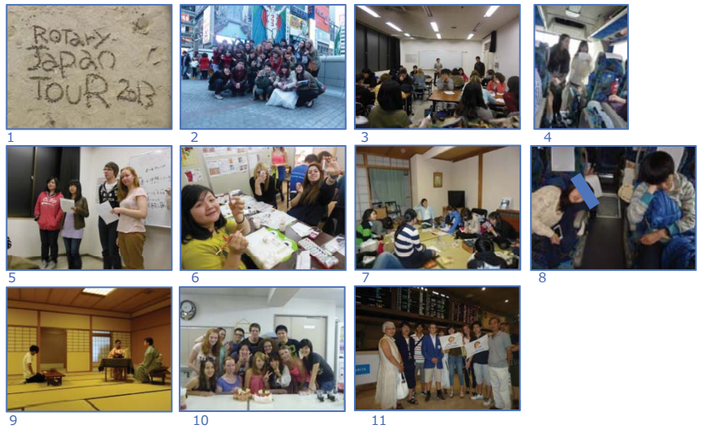
スペインの都会マドリッドでの生活、「シエスタ」は休日だけ。ホストのお母さんとお姉さんが看護師の家族と 1 年間一緒に過ごし、「娘」として紹介されたときはうれしかったです。この家族との生活を通して、本音で話し合う家族の大切さを教えられました。ナイトライフも楽しみました。
（山下和歌子さん　47 期スペイン）

ブラジル

ブラジルはパワーのある国です。サッカー代表の試合のある日は、学校と仕事がないという正にサッカー一色の国。
派遣先のベロオリゾンチは計画都市なのに路面はガタガタ。街にゴミが多く、リオでの世界最大のスラム街、入植地ごとに異なる街の景観など、日本との相違点を体験しました。学校では、何のために勉強しているのかをしっかりと考えをもった友人たちと過ごしました。「1 年の人生」、満喫しました。
（香西敬介さん 45 期ブラジル）2012-2013 年度 ROTEX 委員長

トルコ

「写真を撮ってください」「日本人は靴が半額」というほど、トルコは親日家の国です。「今日はアジア、明日はヨーロッパ」と、イスタンブールは楽しさが凝縮した街です。トルコ人はイスラム教徒ですが、クリスマスを一緒に楽しみました。お家でダンスをするほど陽気な家族と共に、過ごしました。また、イスラム社会への西側の偏向報道も学ぶ機会になりました。「不思議な国」にも行く事ができるプログラムは ROTARY だけです。
（植松久美子さん　47 期トルコ）
（聴い見て感じたことを動画を交え報告していただきました）




1ROTARY JAPAN TOUR 2013　2 大阪にて。この写真撮影直後に、来日学生行方不明事件発生！ 4 バスでその日訪問先について、派遣生と来日学生が調べたことを英語と日本語で発表しました 3,5 広島での平和ディスカッション 6 愛知でのロウソク絵付け体験 7 宿泊先での ROTEX のミーティング 8 つかのまの就寝。寝るのは移動中のバスの中くらい・・・9 市ヶ谷の裏千家今日庵東京道場での月 2 回お稽古 10 来日直後の日本語研修、幹部は 2 週間に渡ってサポートします。他のメンバーも入れ替わりで参加。先生からも担当の ROTEX からもよく叱られました 11 成田空港のお迎えも見送りも ROTEX は参加します。出会いと別れの夏ですね。

## 学生 ROTEX の活動報告

ジャパンツアー

ジャパンツアーは、ヨーロッパツアーをモデルにした 10 日間の日本版バスツアーです。毎年 ROTEX は、来日学生の「生涯の宝物づくり」のプログラムをゼロから作り、演出します。来日学生と派遣学生も 1 日を担当し、調べてきたことをバスの中で日本語と英語で発表します。広島での平和トークや伝統工芸の文化体験など、学習要素も取り込んでいます。期間中 ROTEX は移動のバスが唯一睡眠時間となるほど、24 時間稼働の 10 日間でした。
（一戸曹祐さん　42 期タイ）

学生 ROTEX 活動

ROTEX は、自分たちの経験を踏まえ「何が来日学生／派遣予定学生にとって、何がよい経験となるか」をテーマに活動しています。主なメンバーは大学 1 年生と 2 年生です。夏の 2 週間の日本語研修とサマーキャンプ、月 2 回の茶道、月 1 回のフィールドトリップ、ジャパンツアーの全体行事のほか、来日学生のジュニアカウンセラーとしてホストファミリーやロータリークラブとの連絡調整を行っています。活動費は、T シャツの販売や卓話などで賄っています。人数不足や金銭面の問題も抱えています。
（藤井隆太さん　46 期ドイツ）

## 学生 ROTEX 委員長さんからのメッセージ

ローテックスは、自分たちの体験を活かし、何が派遣予定生にとって、また来日学生にとって、良い経験となるかを考えています。
それは自分たちローテックスが 1 年間、海外へ派遣させていただいたことへの、感謝の気持ちからくるものです。
そして、貴重な海外での 1 年間で、我々が学んだことを、来日、派遣の学生達に伝えるのが我々の仕事だと思い、日々活動しています。
また複数の代が、ローテックスとして一緒に活動することで、下の世代に、ローテックスの役割を正確に伝えていくようにしています。
このように、青少年交換プログラムの実行に当たり、ローテックスがその一端を担う事が出来るよう、これからも精進してゆくつもりでいます。どうぞ皆様も、我々ローテックスを温かく見守って下さい。

藤井隆太さん（46 期：ドイツ）

### 現状の学生 ROTEX の問題

- **人数不足**
  **→46 期の在京者が少なく、1 人 1 人の負担が増えること**
- **学業、アルバイトとの両立**
  **→土日に行事が多いため、アルバイトと重なることが多い**
- **金銭面**
  **→ROTEX の活動費は、毎年 T シャツを売って得る収入で殆どが賄われている**

peaceful Rotex

# 02 今後の ROTEX についての意見交換会

**様々なご意見をいただき、今後の ROTEX について話し合う機会となりました。**
**今後もこの組織化へ向けて準備を進めることについて、ご賛同をいただきました。**

第２部　今後の ROTEX についての意見交換会　16:10-
（司会進行　橋本もとえさん 11 期、原幸一さん 19 期）
・組織化についてのご提案
・意見交換タイム

■組織化事務局からの説明
・地区によらず、一定のルールに則った形の組織化を進めるにあたり、広く意見を聴きながら、特に積極的な反対がなければ法人化を進めたい。
・「つくるところまでつくり、こわすときはこわせるようなルールをつくる」を方針としている。
・ロータリーへの説明として、広島国際平和フォーラムにおいて、日本の ROTEX を結ぶ為の組織づくりについて説明を行った。東京が中心になることに対しては、様々な意見があった。

## さまざまなご意見

■ 大阪 ROTEX からの声
「地区によりギャップがある。法人化の理解をもっと広めていく必要があるのではないか」
「ロータリーとの距離も近く、ロータリアンやローターアクトになったメンバーもいる。ロータリーとの関係構築の必要性がある」
「大阪の名簿は、ロータリーがもっている」
「理想は地区ごとに会員をあつめることだが、まずこの組織化事務局で取りまとめ、その後分化していく方向性はどうか」

■ 学生 ROTEX からの声
「青少年交換の委員さんとの連携も図ってほしい」
「どんどん支援してほしい」　→すぐにでもできることは支援したい。

■ その他
「ジャパンツアーは、全国でつながるきっかけになるのではないか」
「ロータリーにもしっかりとした記録が残っていない。もったいない」
「今 50 年、これ以上時間がたつと、もう手がつけられなくなる。この際きっちりとしたものをつくらないといけない」
「学生が ROTEX 活動に、“仕事”ということばを当てていた。仕事と思うほど負担になっている。支援をしたい」

### ■　組織化への賛成理由

・安定期、継続的な体制の必要性
（これまでも５年ごとに動きはあったが今回で最後にし、しっかりした組織を残したい）
・学生 ROTEX 活動への支援
・就職活動支援(既に実施)
・同窓会を開く(既に実施、連絡等の負担が大きい)
・ホストファミリー不足への継続的な支援
・大きくなったから(2580 地区だけで約 600 名)
・50 年後にも残したい
・ROTEX の人財を活かし、社会貢献がしたい

### ■　組織化への反対理由

・組織化の目的が不明瞭である
・組織化ありきか、目的ありきか
→様々な意見があるが、検討してきた結果、「同窓会組織の設立」が事務局の共通意見となった。
・ロータリーとの関係が心配である
・会計報告等手続きが大変面倒であり、手間を考えれば組織化する必要があるとは思えない。

## 今後調整が必要な３つの課題

他地区からの参加もあり、取り組むにあたり調整が必要な課題も浮かび上がりました。

### ①「各地区における各世代との関係」

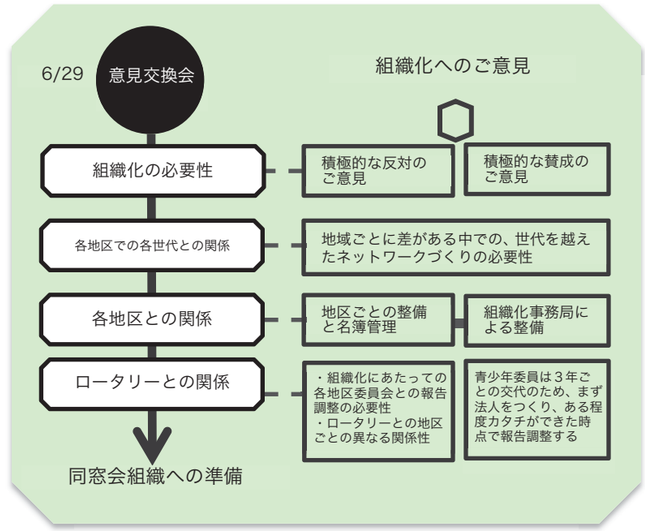
2580 地区は、名簿整備から始めたことで、今回２０代から５０代以上が集まることができる状況です。全国では、比較的近い年代での関係に留まる状況もあることが考えられます。

### ②「各地区との関係」

他の地区と、組織化事務局が全国の中心となるのか、各地区で名簿整備等を行っていくのかという課題も議論になりました。

### ③「ロータリとの関係」

ロータリーとの関係は、各地区により様々です。３年ごとにメンバーが変わっていく委員会の調整も検討していく必要があります。ローターアクトやロータリアンになったメンバーもいます。




## 参加の ROTEX（敬称略）

東京の ROTEX
橋本留理子(11)、神田純子(11)、橋本もとえ(11)、植松知子(11)、金子竜彦(18)、越智房子(18)、原幸一(19)、
國本博子(19)、柿澤仁子(21)、中嶋晶子(21)、谷山従子(28)、島根美奈子(29)、桑原佐和子 (29)、
原瞳(29)、清水薫(31)、砂金政良(33)、鈴木智子(34)、榮谷泰子(34)、荒井秀彦(34)、室瀬智弥 (36)、
Todd SPITZ(40) 、寺島達秀 (40)、早尾祐美子 (42)、一戸曹佑 (42)、中村瑛美 (43)
川井すみれ(44)、棚村瑞貴 (44)、香西敬介 (45)、藤井隆太 (46)、植松久美子 (47)

大阪の ROTEX
武市尚大、松井圭子、岡部仙瑞、村上正晃、正野恵理、片山佑一

ロータリアンさん
大森順方